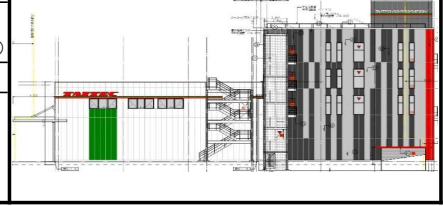


CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)タイテックテクニカルセンター	階数	地上5F
建設地	埼玉県越谷市	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	30人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,960時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年12月 予定	評価の実施日	2022年1月31日
敷地面積	1,844 m ²	作成者	岩井正光
建築面積	1,135 m ²	確認日	2022年1月31日
延床面積	3,306 m ²	確認者	瀧澤修一郎



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.8 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★☆☆☆☆ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他	
「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満たしている	特になし	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
特になし	特になし	特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
BEIm=0.74	節水コマなどに加えて、節水型便器を用いている	大気汚染発生させないように燃焼機器を使用していない

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
(仮称)タイテックテクニカルセンターC館増築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									2.5
Q1 室内環境					0.30		-		2.6
1 音環境				2.5	0.15		-		2.5
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-		
1.2 遮音				1.8	0.40		-		
1 開口部遮音性能				1.0	0.60		-		
2 界壁遮音性能				3.0	0.40		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-		-		
1.3 吸音				3.0	0.20		-		
2 温熱環境				2.6	0.35		-		2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38		-		
2 外皮性能				3.0	0.25		-		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
3 光・視環境				2.6	0.25		-		2.6
3.1 昼光利用				1.8	0.30		-		
1 昼光率				1.0	0.60		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				3.0	0.30		-		
1 昼光制御				3.0	1.00		-		
3.3 照度				3.0	0.15		-		
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	-		
4 空気質環境				2.8	0.25		-		2.8
4.1 発生源対策				3.0	0.50		-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00		-		
4.2 換気				2.3	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.33		-		
2 自然換気性能				3.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33		-		
4.3 運用管理				3.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御				3.0	0.50		-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-		2.5
1 機能性				2.5	0.40		-		2.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性				3.0	0.50		-		
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.50		-		
3 バリアフリー計画				-	-		-		
1.2 心理性・快適性				2.0	0.30		-		
1 広さ感・景観				3.0	0.33		-		
2 リフレッシュスペース				2.0	0.33		-		
3 内装計画				1.0	0.33		-		
1.3 維持管理				2.5	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.8	0.30		-		2.8
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				2.6	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				1.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				2.6	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				2.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20		-		

3 対応性・更新性		2.4	0.30		-	-	2.4
3.1 空間のゆとり		1.0	0.30		-	-	
1 階高のゆとり		1.0	0.60		-	-	
2 空間の形状・自由さ		1.0	0.40		-	-	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30		-	-	
3.3 設備の更新性		3.0	0.40		-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20		-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20		-	-	
3 電気配線の更新性		3.0	0.10		-	-	
4 通信配線の更新性		3.0	0.10		-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20		-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.40		-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30		-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30		-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-		-	-	3.0
LR1 エネルギー		-	0.40		-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		-	-		-	-	-
2 自然エネルギー利用		3.0	0.13		-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] = 0.74	3.6	0.63		-	-	3.6
4 効率的運用		3.0	0.25		-	-	3.0
集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-	-	
4.1 モニタリング		3.0	0.50		-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50		-	-	
集合住宅の評価		-	-		-	-	
4.1 モニタリング		-	-		-	-	
4.2 運用管理体制		-	-		-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30		-	-	2.7
1 水資源保護		3.4	0.20		-	-	3.4
1.1 節水	節水コマなどに加えて、節水型便器を用いている。	4.0	0.40		-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		2.4	0.60		-	-	2.4
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10		-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20		-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20		-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20		-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10		-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20		-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.0	0.20		-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	-	
1 消火剤		-	-		-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	-	
3 冷媒		3.0	0.50		-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30		-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率88%	3.4	0.33		-	-	3.4
2 地域環境への配慮		2.8	0.33		-	-	2.8
2.1 大気汚染防止	燃焼機器を使用していない	5.0	0.25		-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50		-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.2	0.25		-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	-	
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	-	
3 交通負荷抑制		2.0	0.25		-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	-	
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33		-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	-	
1 騒音		3.0	0.33		-	-	
2 振動		3.0	0.33		-	-	
3 悪臭		3.0	0.33		-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70		-	-	
2 砂塵の抑制		-	-		-	-	
3 日照障害の抑制		3.0	0.30		-	-	
3.3 光害の抑制		3.0	0.20		-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70		-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	-	

CASBEE埼玉県 重点項目シート












■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	(仮称)タイテックテクニカルセンタ	BEE	0.8	BEEランク	★★
------	-------------------	-----	-----	--------	----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.4	+	2.3	= 5.7	
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.4
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.4
<配慮した内容を記述> 「光害対策ガイドライン」のチェックリストの項目の過半を満たしている。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.3
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	2.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0
<配慮した内容を記述> 特になし			

 :入力欄